

令和7年度 地歴・公民科初任者研修会(報告)

1. 実施日時 令和7年9月22日(月) 13:20～16:00(受付13:30)～
2. 研修会場 加藤学園暁秀中学・高等学校
静岡県沼津市岡宮字中見代 1361-1 電話:055-924-1900
3. 対象者 社会科及び地歴・公民科新任教員(1～5年目)等
4. 研修テーマ 「深い学びの実現に向けた地歴・公民科教育」
5. 授業 授業者 暁秀高等学校 教諭 齊藤渉太(さいとうしょうた)
科目「歴史総合」
授業名「ヨーロッパの日本接近とアヘン戦争」
クラス 1年α組(アルファコース1年)
6. 講演および講評 「高校社会科教育の動向」
静岡県総合教育センター高等学校支援課 教育主査 加藤博己 様
7. 内容 13:00～ 受付(事務室前)
13:20～ 学校挨拶、部会長挨拶、日程・会場説明等(生活科学棟2F)
13:30～ 移動
13:40～ 公開授業(5時間目相当)(1α 教室(308 番教室))
14:30～ 授業終了、移動
14:45～ 趣旨説明、授業者より(生活科学棟2F)
15:00～ 講演及び講評
15:50～ 質疑応答・アンケート記入
16:00 解散

【公開授業の様子】



【講評・講演の様子】



【アンケート要約】

研修会のアンケート結果から参加者の満足度が非常に高かったことが確認された。全体を通して、「大変参考になった」「とても参考になった」という肯定的な評価が大多数を占め、研修が有意義であったことがうかがえる。

1) 研究授業(齊藤先生)について

他校の初任者の授業を参観できたこと自体が、参加者にとって大きな刺激となった。自身の授業実践を客観的に見つめ直す良い機会になったとの意見が多く見られた。特に、授業で扱われた「アヘン戦争」を題材とした「問い」の設定や、ロールプレイといった具体的な活動は、明日からの授業に取り入れたい実践例として高く評価された。

2) 講演(加藤教育主査)について

研究授業の内容を踏まえた加藤教育主査の講演は、「具体的でイメージしやすかった」と特に好評であった。多くの参加者が、授業の構成や「問い」の作り方、新学習指導要領のポイントといったテーマについて、理解を深めることができたと回答している。

3) 総括と今後の研修への要望

研究授業と講演を有機的に関連させた今回の研修形式は、参加者の学びを最大化する上で効果的であった。授業における「問い」の重要性を再認識する機会となっただけでなく、他校の教員との交流も有意義であったとの声が寄せられた。

一方で、今後の研修内容として、以下のようなテーマを望む意見が挙げられており、さらなる実践力向上への意欲が感じられた。

- ・ベテラン教員の授業参観
- ・「問い」に基づいた評価の具体的手法
- ・アクティブ・ラーニングやディスカッション活動の作り方